



新潟県立柏崎常盤高等学校  
1学年だより 第16号  
平成27年1月9日発行

## 意志あるところに道は開ける

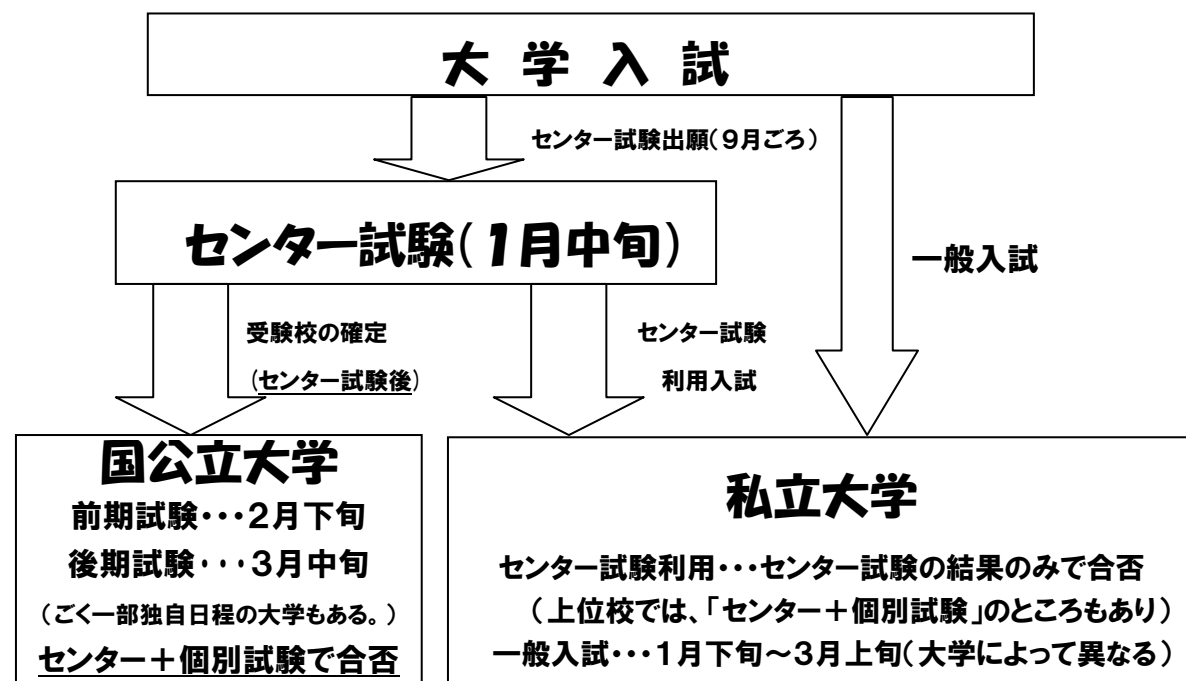
1月17日から18日にかけて、全国一斉に大学入試センター試験が行われ、柏崎常盤高校からも、3年生95名が受験します。

「センター試験、聞いたことあるけど何？」という人の為に大まかに紹介すると、

センター試験とは・・・

- 全国一斉、同一日程で行う試験で、毎年全国で約50～60万人が受験する、全国最大の試験！
- 国公立大学は1次試験として受験が義務づけられている。  
(2次試験と併せて合否を判定する場合が多いが、大学によって科目や配点異なる。)  
また、ほとんどの私立大学では、大学に行って受ける一般受験とは別に、センター試験での得点を利用して受験することができる。「センター試験利用入試」と呼ばれている。  
(2～3科目と、国公立大学よりも科目が少ない場合が多い。)

※大学入試の流れ(一般入試のみ、A0入試・推薦入試は除く) ※一部例外あり!



(詳しく知りたい人は「進路の手引き」を参照しなさい)

この表をみて分かるように、**3年生は今、まさに進路に向けてラストスパートを切っている時期**です。志望校の「合格」の2文字を勝ち取る為に、今だけでなく少なくとも3年生になってから多くの模試を受け、休日、夏休み、冬休みも返上し、努力し続けています。

そして、さらに伝えたいことは、常盤高校の現3年生は推薦等で進路が決まっている生徒も、ほぼ全員がその後の模試、さらに本番のセンター試験を受験している、ということです。  
センター試験は申し込みが9月頃と早い為、推薦入試よりも早く出願する、ということもありますが、合格してからも大学の勉強についていくための学力をつける為、試験を受けています。

さて、1年生は入学してから1年間が経とうとしています。この1年間はみなさんにとって勉強はもちろんのこと部活動、ボランティア、その他でどれだけの人生の経験値を積めたでしょうか？何か胸を張れるものはありますか？

さて、今回の大テーマは、「**意志あるところに道は開ける**」。  
この言葉は英語では“Where there is a will, there is a way.” と書き、外国のことわざです。(英語の will は、「意志」という名詞の意味もある)  
この言葉の意味することは説明するまでもなく、この言葉を聞いて思い浮かぶイメージそのものだと思います。「何かを行おうという強い意志があれば、それを達成する方法は、おのずと見出せるものである。逆に、達成する方法が見出せないのは、それを行おうという意志が弱いからである。」ということでしょう。

みなさんは、1回1回の定期考査や、模擬試験をどのように迎えていますか？  
ただなんとなく普段の授業では与えられた課題をこなし(または提出もしない)、定期テストもなんとなく直前から勉強をはじめ、模試はどうせ分からないから、ノー勉(=勉強しない)でテキトーに受ければいいや、という考えにいつの間にかなっていないですか？

この姿勢がずっと続くと、本格的な受験勉強が始まる3年生になってから真剣に取り組もうと思っても、意志が続かない・・・と、いうことになってしまいます。意志がなければ、道(=進路)は開けませんよ。  
3年生になって、「模試は面倒くさいから受けない」「そのとき入れる学校に入ればいいや」という考えになってしまったら、せっかくいろいろなことにチャレンジできる常盤高校に入学した意味が全くありません。1年生のうちから、目標を立て、こつこつと努力をするくせをつけましょう。

**進路指導部より**  
**ベネッセデジタルサービスの目標設定を必ず行うこと！**  
**1月15日(木)までに全員必ず！**